

埼玉トヨペット Green Brave

AUTOBACS
SUPER GT
2020 SERIES

2020 RACE REPORT

#52 埼玉トヨペット Green Brave GR スーブラ GT

2020年8月22日(土) ~ 8月23日(日)

AUTOBACS SUPER GT Round3

FUJIMAKI GROUP SUZUKA GT 300km RACE

鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

予選 5 位からスタートするも入賞圏内に届かず 12 位

SUPER GT 第3戦が鈴鹿サーキットで行われた。レース距離は300km。前戦の結果により、ウエイトハンデは15kg上乗せされ75kgに。依然としてクラス最大のウエイトを積んでおり、GR スーブラ GTに与える影響が気になる。なお、前戦で導入されたタイヤ交換義務付けのルールは適用されていない。

土曜日の天候は晴。10時から行われる公式練習がGR スーブラ GTの鈴鹿初走行となる。吉田選手はこのセッションで10位のタイムをマークし、75kgのウエイトを積んでも上位を狙える力を示した。マシンの基本性能が高いことはもちろん、事前に行ったセッティングがコースに合っているからで、微調整のみで午後の予選に臨んだ。Q1のドライバーは川合選手。川合選手はA組の予選に出場し、3周目に1分59秒437をマーク。5位に入り、Q1突破を決めた。Q2に出場した吉田選手は、1回目のアタックで川合選手のタイムをコンマ5秒短縮する1分58秒892をマーク。見事トップ5に食い込んだ。下位にはGR スーブラ GTより軽いウエイトのマシンもいるので、大健闘の予選結果と言える。

決勝日の天候は晴。気温が高く、路面温度も非常に高いため、チームはタイヤ無交換は不可能と判断。タイヤ4本交換を前提とした2スティント作戦を選択した。スタートドライバー、川合選手はポジションをキープして1コーナーへ。しかし、後続のマシンがコースアウトし、すぐにセーフティカー(SC)が導入される。5周目からレース再開。川合選手のペースは良好で、6周目に#244RC-Fを1コーナーでパス。3位の#56GT-Rとの差を徐々につめていく。しかし、コーナーが連続する前半区間で追いついても、後半の直線区間で離されてしまい、抜くことができない。一進一退の攻防戦が続くと思われたが、16周目、GT500のカウルが西ストレート上に飛散。2回目のSCが導入され、川合選手は後続との間に築いたリードを失ってしまう。22周目からレース再開。4位走行中の川合選手はトップの#31プリウスを含む、8台ほどのライバルと同時にピットイン。ピットは大混雑となる。タイヤ交換と給油を行い、吉田選手に交代するが、GR スーブラ GTはルールにより給油スピードが制限され、さらにタイヤ交換にやや時間を要したため、最後にピットを離れる。コースに復帰した吉田選手の順位は29位(最後尾)。追い上げを図る吉田選手だが、27周目にまたびSCが導入され、追い上げの機会を失ってしまう。33周目からレース再開。吉田選手は19位まで順位を上げるも、タイヤの摩耗が進んでおり、ペースを上げることができない。それでも吉田選手は44周目に#6トヨタ86をパス。14位まで順位を上げると、終盤に発生したライバルのアクシデントにより13位。さらにファイナルラップで#25ポルシェを抜き、12位でチェッカー。今シーズン初のノーポイントという悔しい結果になったが、新たな課題が見えたレースでもある。次戦もてぎでの巻き返しに期待したい。

決勝結果 (GT300)

#52 埼玉トヨペット Green Brave GR スーブラ GT

(吉田広樹/川合孝汰)

決勝: 12位 (49周、1時間58分48秒562)

予選: 5位 (Q2: 1分58秒892)

GT300 決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	GAINER TANAX GT-R(日産 GT-R NISMO GT3)	50周
2位	UPGARAGE NSX GT3(ホンダ NSX GT3)	50周
3位	シンティアム・アップル・ロータス(ロータス エヴォーラ MC)	50周
4位	スバル BRZ R&D SPORT(スバル BRZ GT300)	50周
5位	TANAX ITOCHU ENEX with IMPUL GT-R(日産 GT-R NISMO GT3)	50周
12位	埼玉トヨペット Green Brave GR Supra GT(トヨタ GR スーブラ GT)	49周

天候:晴、路面:ドライ ※トップ5まで(出走30台)



DRIVERS VOICE



第1ドライバー吉田広樹

(予選後) 練習走行からそこそこいいバランスで走っていたので、チームの持ち込みセットをちょっとだけアジャストして予選に挑みました。自分が思っていたより上に行けたので、いい予選になったと思います。たぶんウエイトがきいてくるのは今日の予選より明日の決勝かと。今朝、少し周回を重ねている中でその気を感じました。

(決勝後) 孝汰のペースは良く、ギャップもあったのですが、SC がいっぱい入ってしまって。ピットを出たタイミングは自分のペースで走れる感じではありませんでした。なかなか抜くことができなくて、やっているうちに最後はタイヤがズルズルになってしまった感じです。どの順位を走っていてもできることをするしかなくて。ペースがいい感じで抜いて離れたわけではないので、ちょっと残念な気持ちはあるのですが、しょうがないですね。



第2ドライバー川合孝汰

(予選後) スーブラで初めて鈴鹿を走ったのですが、75kg のウエイト、富士とは違うバランスが出て、慣れるまでちょっと大変でした。予選に関してはうまくまとめられたのかなと思います。吉田さんも久々の走行だったと思うのですが、鈴鹿はものすごく得意なコースにしているの、良いタイムを出して帰ってくると思うので、期待して待ちたいと思います。

(決勝後) #244RCF が1コーナー、2コーナーで若干はらんだので、そこをうまく突くことができ、良かったと思います。#56GT-R に第1、第2セクターでは追いつくのですが、ヘアピンからストレートまでの区間ではなかなか敵しくて。追いついては離れるというのを繰り返していた感じでしたね。ピットインの時、ドライバーチェンジの準備はしていたのですが、クルールスーツを抜くのに手間取ってしまった。そういうところが今後もう少し課題だと思います。



チームランキング GT300

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	11	GAINER	43
2位	2	Cars Tokai Dream28	40
3位	52	埼玉トヨペット Green Brave	34
4位	61	R&D SPORT	29
5位	65	K2 R&D LEON RACING	27
6位	56	KONDO RACING	25

トップ6まで



PARTNERS



アルパインマーケティング株式会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



埼玉群スリーボンド株式会社



株式会社 Team Iwakiri Japan



株式会社 ドーム



トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ハッピーライフ彩生

※50 音順

【次戦予告】 9月12日~13日 ツインリンクもてぎ (栃木県茂木町)